

# お知らせ

## 第4回定例会の予定

12月1日(木)	定例会《開会》
5日(月)	一般質問
6日(火)	一般質問
7日(水)	一般質問
8日(木)	一般質問
9日(金)	議案質疑
12日(月)	議案質疑
13日(火)	総務常任委員会
14日(水)	産業建設常任委員会
15日(木)	文教厚生常任委員会
20日(火)	討論・採決《閉会》

(※日程など都合により変更になる場合もあります。)

# 議員活動あれこれ

佐賀県市議会

議員研修会

(7月29日)



消防団夏季訓練

(8月21日)



有明海クリーンアップ作戦

(8月24日)



## 表紙の紹介

丁永遺跡出土、  
刻書紡錘車

(六四八年)

(寸法)

直径4.58cm  
厚さ0.75cm  
孔径0.77cm  
重量27.5g

〈小城市立歴史資料館蔵、市重要文化財〉  
平成20年12月22日指定

平成19年度から20年度にわたった小城中学校改築での調査から出土したもので、遺跡名は丁永遺跡。円盤型の片状蛇紋岩製の中央部に穴を開け、糸巻き棒を通して繊維に撚りをかける際に使われた弾み車である。丁亥年六月十二日、提十□□①「丁亥年六月十二日、亦提と(う)まろ、②丁亥年六月十二日、赤提と(う)まろ」と二通りに読める文字が彫られ、

六朝風の字体の特徴を遺し、飛鳥・藤原宮跡出土の7世紀代の木簡や、法隆寺に伝来した文書にみえる文字とも共通していると考察されている。又、記載内容・書式から関東地方出土のものと同通していることから、何らかの祭祀・信仰儀礼等にかかわって文字が記されたと考えられる。この紡錘車がなぜ小城の地で出土したかについては、東国からの移住者や防人として派遣された人々の存在が考えられる説と、形状等から東国等からの搬入品というより在地で製作されたものという二説に分かれている。いずれにしても、紀年銘のある紡錘車は全国で5例しかなく、その中でも一番古いもので貴重な文化財であることには変わらない。